

MRI検査をお受けになる方へ

MRI検査とは...

MRI（磁気共鳴画像）検査は、大きな円筒型の磁石の中に身体を入れ、磁気と電波を用いて体内の情報を画像として記録、診断する検査です。（検査時間：約20～30分）

検査当日の流れ

紹介状・健康保険証・当院診察券（お持ちの方）を持参のうえ、
検査予約時間の30分前までに、
日本鋼管病院 外来棟1階 紹介状受付 におこしてください。

ご注意ください

- ◇ 下記項目に当てはまる場合は検査が出来ない事がありますので、依頼元の医師に必ずお伝えください。
 - ・ペースメーカーを使用している
 - ・体内金属がある（例：動脈クリップ・ステント・心臓弁・IVCフィルター・人工骨頭など）
→「ある」の場合、施行病院にMRI対応の物が確認してください
 - ・金属染色をしている（例：刺青など）
 - ・妊娠あるいはその可能性がある（妊娠12週までは、検査できません）
 - ・気管支喘息と言われたことがある
 - ・閉所恐怖症がある
 - ・過去に造影剤を使用した検査で気分が悪くなったことがある
- ◇ 検査当日は飲食の制限はありません。（ただし、MRCPは飲水可能ですが、食事は摂らないで下さい）
- ◇ 眼鏡・コンタクトレンズは検査時に外していただきます。
来院時、眼鏡またはコンタクトレンズを収納できるもの（ケース等）をご用意願います。
- ◇ 頭部の検査を受けられる方は、なるべくお化粧はひかえてください。
- ◇ 強い磁場を使用しますので、金属類や磁気カードは検査室内に持ち込めません（ロッカー完備）。
- ◇ 検査の開始および終了は予定の時刻よりも多少前後する場合がありますので予めご了承願います。
- ◇ 検査結果については後日、依頼病院の担当医師からお聞きになって下さい。

お問合せ

都合により遅れる場合・ご来院できなくなった場合

地域連携室 TEL 0120-961-778（平日8:30～16:55・土曜8:30～13:55）

検査後に体調不良等の異常がでた場合

地域連携室 TEL 0120-961-778（平日8:30～16:55・土曜8:30～13:55）

救急外来 TEL 044-333-5591（上記時間以外）

※より詳しい画像を得るために、患者さんの同意を頂いたうえで造影剤を静脈注射することがあります。
造影剤使用に関する詳細は、裏面をご覧ください。

【MRI 検査で造影剤を使用する方へ】（事前に内容をご確認ください）

1. 目的と方法

今回実施する MRI 検査では、造影剤という検査薬を血管内に注射して行います。

造影剤を使用することにより、病気の有無や性質、範囲を正確に診断するのに大いに役立ちます。

2. 副作用

造影剤は基本的には安全な薬剤ですが、一定の頻度で副作用が生じることがあります。

- 1) 軽い副作用：吐き気、嘔吐、頭痛、めまい、くしゃみ、せき、のどの違和感、動悸、かゆみ、発疹、発赤など基本的には治療は必要としません。（発生頻度：約 1%）
- 2) 重い副作用：血圧低下、呼吸困難、意識障害、腎性全身性繊維症など入院が必要になる場合があります。（発生頻度：約 0.05%）
- 3) 死亡に至る副作用：非常に稀ですが、病状や体質によってはあります。（発生頻度：0.0001%）

* 検査終了後、数時間～数日後に上記の副作用が現れる場合があります。

3. 造影剤の血管外への漏出

血管の状態を観察しながら注射を行いますが、造影剤が血管外に漏れる場合があります。腫れ、痛み、熱感などほとんどの場合は時間が経つと吸収されるので心配ありませんが、まれに処置が必要になる場合があります。

万一、副作用が生じた時には、保険診療にて処置、治療を行います。

検査当日、同意書をご記入いただきます。

同意書に署名された場合でも検査前であればいつでも撤回することができます。

また、**放射線科医の判断で部位や目的などにより造影剤を使用しない場合があります。** ご了承ください。